

アルミニウム合金製 ユニット交換式1連はしご LLS型 取扱説明書

このたびは本製品を、お買い上げいただきましてありがとうございます。
この取扱説明書は、本製品の使いかたと使用上の注意事項について記載しています。ご使用前には必ず、この取扱説明書をよくお読みいただき、事故が起こらないよう、内容にしたがって正しくお使いください。
また、お読みになった後も、この取扱説明書をすぐに取り出せる所へ大切に保存してください。

- はしごは、正しく使われないと転倒や転落の危険があります。
お使いになるときは、はしごの安定した状態を確認してください。
- はしごは、昇降面の左右方向に転倒しやすいので、十分注意してご使用ください。
- はしごを使うときは、大人の補助者がはしごをしっかり支えて、転倒や転落しないように、十分注意してお使いください。
- この取扱説明書に書かれた使いかた以外の使用方法や注意事項を守らずに、事故を起こされても責任を負いかねますのでご了承ください。

表示マークについて

取扱説明書や製品のラベルに記載されている△マーク付きの説明は、安全上、特に重要な項目ですから、必ずお守りください。

△ 危険

記載されている内容を守らなければ、死亡や重大な事故が生じる危険が極めて大きいことを示します。

△ 警告

記載されている内容を守らなければ、死亡や傷害事故が生じる危険があることを示します。

△ 注意

記載されている内容を守らなければ、けがや製品が破損する恐れがあることを示します。
※破損したままで使用しますと、転倒や転落による傷害事故の原因になります。

○ このマークは、禁止(してはいけないこと)を示します。

! このマークは、強制(必ずすること)を示します。

<絵表示について>

警告表示の要点が一目で理解できるように、警告ラベルの中で絵表示を使用しています。

感電注意

持ち運びや移動・設置時に、配電線に触れると感電して危険であることを示します。

左右方向転倒に注意

バランスをくずして、転倒や転落の恐れがあることを示します。

安全のために、必ず守っていただきたいこと

ここに記載されている注意事項を守らないと、死亡や重大な事故、製品の破損が生じる恐れがあります。

1. 使用条件について

△ 危険 はしごに墜落制止用器具(安全帯)や安全ブロックを取り付けて使用しない。

墜落した場合、墜落時の衝撃ではしごの転倒や破損の恐れがあります。

△ 警告 はしごとしての用途以外の使いかたをしないでください。

この製品は、建物などに立て掛け、高い所に昇り降りする用途に作られた「はしご」です。使い方を誤ったり、用途以外の使い方をしますと、転倒や転落による重大な事故の恐れがあります。

△ 警告 はしごを使うときは、必ず大人の補助者がはしごを支えてください。

補助者がはしごを支えないと、はしごが動きります。そのときバランスをくずして転倒や転落の恐れがあります。また使用中は、はしごを支える補助者以外の人は近づけないでください。

△ 警告 この製品は、本体表示ラベルでの最大使用質量の範囲内で使用してください。

体重と荷物の合計質量が、最大使用質量を超えるときは、使用しないでください。また、荷物はバランスが保てる程度の大きさや重さにしてください。

△ 警告 はしごを加工や改造しないでください。

△ 注意 この製品を人に貸すときは、取扱説明書も共に貸し出してください。

取扱説明書には、安全に使用する上で特に重要なことが書かれていますので、よくご理解のうえ使うように指導してください。

2. ご使用になる前に

△ 警告 使う前には、必ず「点検(裏面を参照)」を行い、異常のないことを確認してください。

異常のあるときは、絶対に使わないでください。重大な事故につながる恐れがあります。

△ 警告 変形したはしごを、使わないでください。

この製品はアルミ製です。曲がったアルミ材は曲げ直すと強度がいちじるしく低下します。したがって、変形したはしごを修理して使うと、容易に折れたり曲がったりして、重大な事故の原因になります。

3. 運ぶときは

△ 注意 トラックなどにロープで固定するときは、ロープを激しく引っ張らないでください。

製品が変形したり、亀裂が入り、使用中に折れる恐れがあります。

△ 注意 はしごを持ち運ぶときは、引きずったり、投げたり、乱暴に扱わないでください。

乱暴に扱うと、変形やへこみ・破損の原因になります。

4. 設置する場所について

△ 危険 設置するときや持ち運ぶときは、配電線に注意してください。

この製品は電気を通しますので、配電線に触ると感電し、重大な事故につながる危険があります。

△ 警告 はしごが安定しない場所には、設置しないでください。

設置場所が下記の状態では、はしごが傾いて転倒や転落の恐れがあります。

- やわらかい地面や壁ではしごが安定しない場所。
- 段差があつたり、凹凸があつて安定しない場所。
- 支柱の片側がジャリ、もう一方がコンクリートなど、左右の硬さが違う場所。
- 傾斜している地面や床、屋根の上。
- 積雪している場所。
- その他、安定しない場所。

△ 警告 はしごが滑りやすい場所には、設置しないでください。

設置場所が下記の状態では、転倒や転落の恐れがあります。

- 滑りやすいビニール製の床・タイル・鉄板の上。
- 濡れている場所。
- 滑りやすいタイル・ガラスなどの壁。
- 積雪や凍結している場所。
- 砂・ごみ・ほこり・落葉などで滑りやすい場所。
- その他、滑りやすい場所。

△ 警告 人の出入口やドアの前には、設置しないでください。

出入りする人や開けたドアで、はしごが倒されて転倒や転落の恐れがあります。

△ 警告 雨の中や風の強い場所には、設置しないでください。

濡れた踏ざんで滑ったり、強い風を受けて身体のバランスをくずして、転倒や転落の恐れがあります。

△ 警告 足元や周囲がはっきり見えない暗がりには、設置しないでください。

足を踏み外したり、周囲の危険な物に気付かないことが原因で、転倒や転落の恐れがあります。

5. はしごを立て掛けるときは

△ 危険 はしごの立て掛け角度は、約75度にしてください。

はしごを立てすぎると倒れ、ねかせすぎると滑りますので、転倒や転落の危険があります。

△ 警告 建物の屋根などに立て掛けた場合は、はしごと建物の接点が、上から2段目と3段目の踏ざんの間が理想的です。

はしごを建物の接点から長く突き出しますと、はしごから屋根に乗り移る場合、はしごが動きます。そのときバランスをくずして、転倒や転落の恐れがあります。建物の高さに合ったはしごをお使いください。やむをえず、長く突き出るときは、補助者が特に注意してはしごを押さえ、はしご上の使用者は接点より上の踏ざんや支柱に体重をかけないでください。

△ 警告 建物の壁に立て掛けた場合は、はしごの上から3段目以上の踏ざんには乗らないでください。

身体が不安定になり、転倒や転落の恐れがあります。

△ 警告 はしごを水平にして使わないでください。

はしごが破損して、転倒や転落の恐れがあります。

△ 警告 はしごを長くするために、別のはしごやパイプ・木などをつなぎだり、台や箱の上に乗せたりしないでください。

つなぎ目が折れたり、台や箱が移動などして、転倒や転落の恐れがあります。

△ 警告 建物のはりや突き出した壁に、はしごの先端を立て掛けたはしごを立てないでください。

はしごのしなりや滑りによって、はしごの先端が外れ、転倒や転落の恐れがあります。

△ 警告 電柱や木など丸いものは立て掛けないでください。

踏ざんが直接あたると、はしごが不安定になり、バランスをくずして、転倒や転落の恐れがあります。

6. はしごを登り降りするときは

△ 警告 はしごと屋根の間を乗り移るときは、はしごがずれないように注意してください。

はしごがずれて不安定になり、転倒や転落の恐れがあります。

△ 警告 はしごと建物の接点より上の踏ざんや支柱に、体重をかけないでください。

はしごの接地側が持ち上がって不安定になり、転倒や転落の恐れがあります。

△ 警告 屋根の上からはしごを移動しないでください。

身体のバランスをくずしたり、接地面が不安定になって、転倒や転落の恐れがあります。

△ 警告 同時に2人以上乗らないでください。

はしごが不安定になり、転倒や転落の恐れがあります。

△ 警告 はしごを背にしたり、手放して昇り降りしないでください。

身体が不安定になり、転倒や転落の恐れがあります。

△ 警告 はしごの支柱から身体を乗り出さないでください。

身体を乗り出すとバランスをくずして、転倒や転落の恐れがあります。

△ 警告 身体の安定が得られないような荷物を持って、はしごを昇り降りしないでください。

バランスをくずして、転倒や転落の恐れがあります。そのような荷物があるときは、背中に背負うなどして、両手両足が使える状態にしてください。

△ 警告 はしごの上に壁や物を無理に押したり、引いたりしないでください。

壁などを無理に押したりすると、その反動ではしごが立ち上がったり、ずれたりして、バランスをくずして、転倒や転落の恐れがあります。

△ 注意 はしごは慎重に昇り降りし、はしごの途中から、飛び降りたりしないでください。

傷害事故の恐れがあります。降りるときは、最下段の踏ざんまで使って静かに降りてください。

点検と保管のしかた

はしごは下記の点検を行い、異常のないことを確認してください。
また、異常に対して対処のできるものは、正しい処置をした後に使用してください。

- 支柱や踏ざんに曲がり、ねじれ、へこみがありませんか。ある場合は新しいものと交換してください。
- 滑り止めがすり減ったり、外れたりしていませんか。している場合は新しい滑り止めユニットと交換してください。
- エンドキャップに破損、脱落がありませんか。ある場合は新しいものと交換してください。
- 各部にボルト・ナットのゆるみ、脱落はありませんか。ゆるんでいるものは増し締めし、脱落したものは取り付けしてください。
- ラベルが剥がれたり見えなくなっていますか。見えなくなっている場合は新しいラベルを貼り付けてください。
- 汚れや付着物はできるだけ綺麗に取り除いてください。

保管方法

- 雨や直射日光の当たらない、風通しの良い乾燥した場所を選んで保管してください。
- 農薬やセメント・石灰の近くに本製品を置きますと、化学反応を起こして腐食の原因になりますので絶対に置かないでください。

点検表

項目	/	/	/	/	/	/	/	/	/
部品									
● 支柱ユニット									
● 踏ざんユニット									
● 滑り止めユニット(2個)									
● エンドキャップ(2個)									
● 各部にボルト・ナットのゆるみ、脱落はないか									
ラベル									
● 本体表示ラベル									
● 使用上の注意ラベル(A-5-○)									
● 一体表示ラベル(A-1-○)(左右2枚)									
● 警告ラベル(AP-23-○)									
● 左右方向転倒注意ラベル(A-6-○)(表裏2枚)									

部品の交換のしかた

- 部品を交換するときは、部品を止めているボルト・ナットを取り外し必ず新しいボルト・ナットを使用して取り付けてください。

各部の名称とパーツ表

各部の名称	支柱ユニット
踏ざんユニット	
エンドキャップ(頂部端具)	
滑り止めユニット(滑り止め用端具)	
本体表示ラベル	
使用上の注意ラベル (A-5-○)	
警告ラベル(AP-23-○)	
転倒注意ラベル(A-6-○)	

※ 1. ラベルを取り替えるときは、ラベルナンバーをご連絡ください。
2. ラベルナンバーは、ラベルの右下に記載されています。
3. ラベルナンバーの○は、改訂ナンバーです。

※ 右側の支柱ユニットを交換された場合は、両側面に「警告ラベル」「一体表示ラベル」「使用上の注意ラベル」「本体表示ラベル」が貼り付けられた状態になります。

ピカ コーポレーション

〒577-0013 大阪府東大阪市長田中4-4-10

ナビダイヤル 0570-064065 (土日・祝祭日を除く9:00~17:00まで)

■ホームページアドレス <https://www.pica-corp.jp>

※この取扱説明書の無断転用を禁じます。

P 19.12

730980401428